

令和元年度 国道 127 号防災対策検討委員会

議事概要

1. 日 時: 令和2年2月14日(金) 18:00~19:00

2. 場 所: 千葉国道事務所202会議室

3. 出席者

佐藤 恒明	独立行政法人 国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校 名誉教授[委員長]
青木 優介	独立行政法人 国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
島崎 彦人	独立行政法人 国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
菰田 直典	千葉県 県土整備部 道路計画課長
栗原 和彦	関東地方整備局 道路部 道路工事課長(代理)
坂井 康一	関東地方整備局 千葉国道事務所 事務所長

4. 議 事

- ・国道 127 号周辺地域の状況
- ・令和元年台風・大雨による被害状況
- ・国道 127 号防災事業の現在の状況と課題
- ・国道 127 号防災事業の優先整備の考え方
- ・今後の進め方

<委員からの主な意見等>

■国道 127 号防災事業について

- ・本年度発生した台風・大雨による一連の道路被害により、地域からの道路防災対策の要望が依然として高いことを確認。
- ・国道 127 号防災事業全体としても、大規模災害発生時の孤立集落解消や緊急物資の円滑な輸送のため、整備優先度の高い箇所から遅滞なく実施していくことが重要。
- ・特に南無谷トンネル、小浜トンネルは防災機能向上の観点から整備優先度が高いため早期に事業を進めていくこと。
- ・城山トンネルについては、活線拡幅のパイロット事業であることに鑑み、早期に実施可能な箇所より進めていくこと。
- ・引き続き、公共工事におけるコスト縮減を継続しながら取り組んでいくこと。
- ・なお、内房地域の防災力強化のため、必要な事業については、引き続き検討を行う。

以上